

# 決算説明会

## 2021年3月期 第1四半期

**ミネベアミツミ株式会社**

**2020年8月4日**

## 1Q営業利益は前年比61%増を確保

(百万円)	2020年3月期		2021年3月期	前年同期比 伸び率	前四半期比 伸び率
	1Q*	4Q	1Q*		
売上高	204,425	226,897	187,463	-8.3%	-17.4%
営業利益	3,324	12,401	5,364	+61.4%	-56.7%
税引前利益	3,341	11,870	5,274	+57.9%	-55.6%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	2,173	10,428	3,573	+64.4%	-65.7%
基本的1株当たり 四半期利益 (円)	5.23	25.44	8.75	+67.3%	-65.6%

為替レート	2020年3月期 1Q	2020年3月期 4Q	2021年3月期 1Q
US\$	110.73円	109.35円	107.74円
ユーロ	123.56円	121.05円	118.23円
タイバーツ	3.47円	3.54円	3.34円
人民元	16.28円	15.63円	15.12円

\*今期1Q営業利益について  
コロナ対策費用等 約40億円

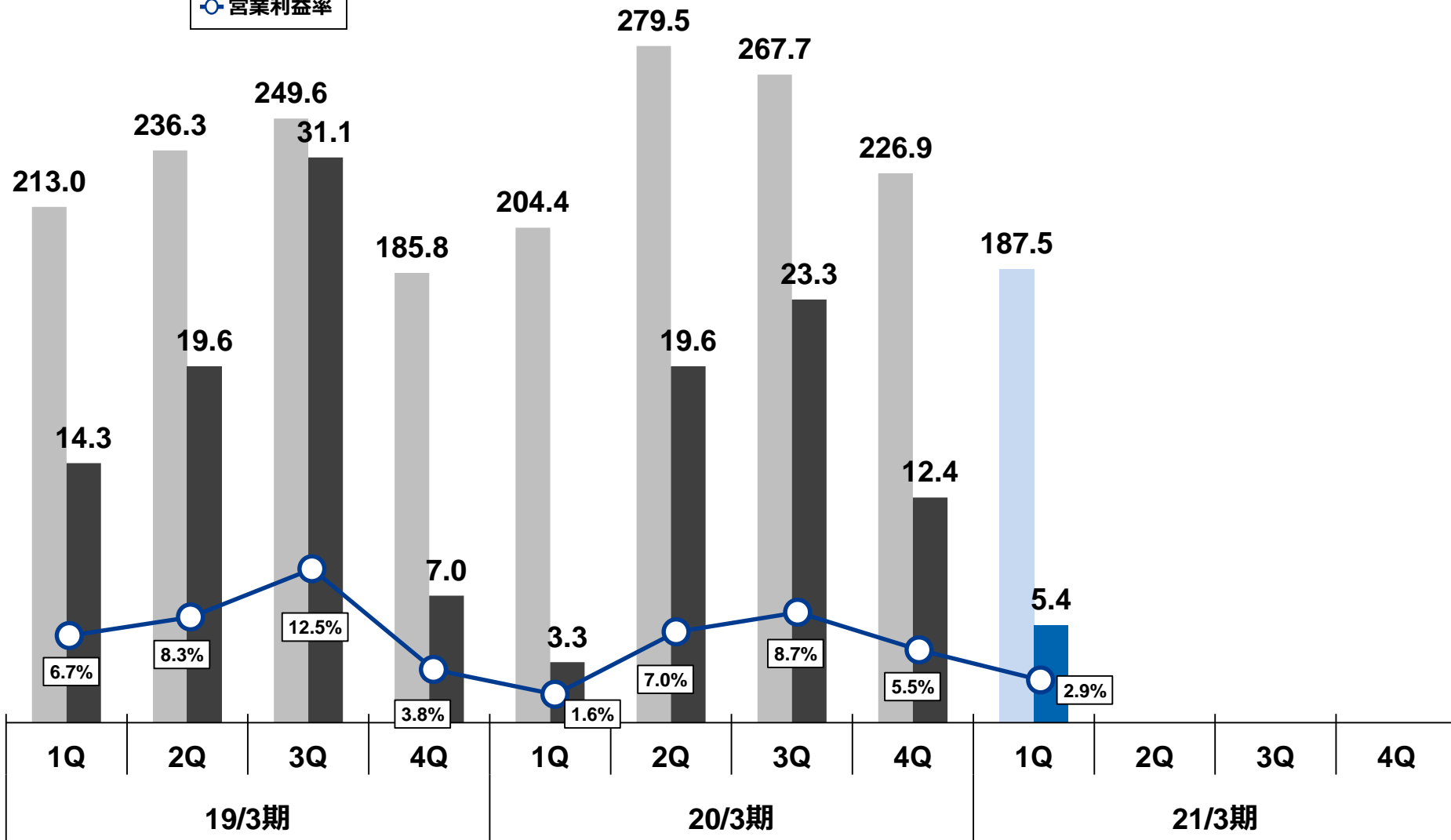
\*前期1Q営業利益について

①特殊要因 40億円

②ユーシンPPAにより若干修正

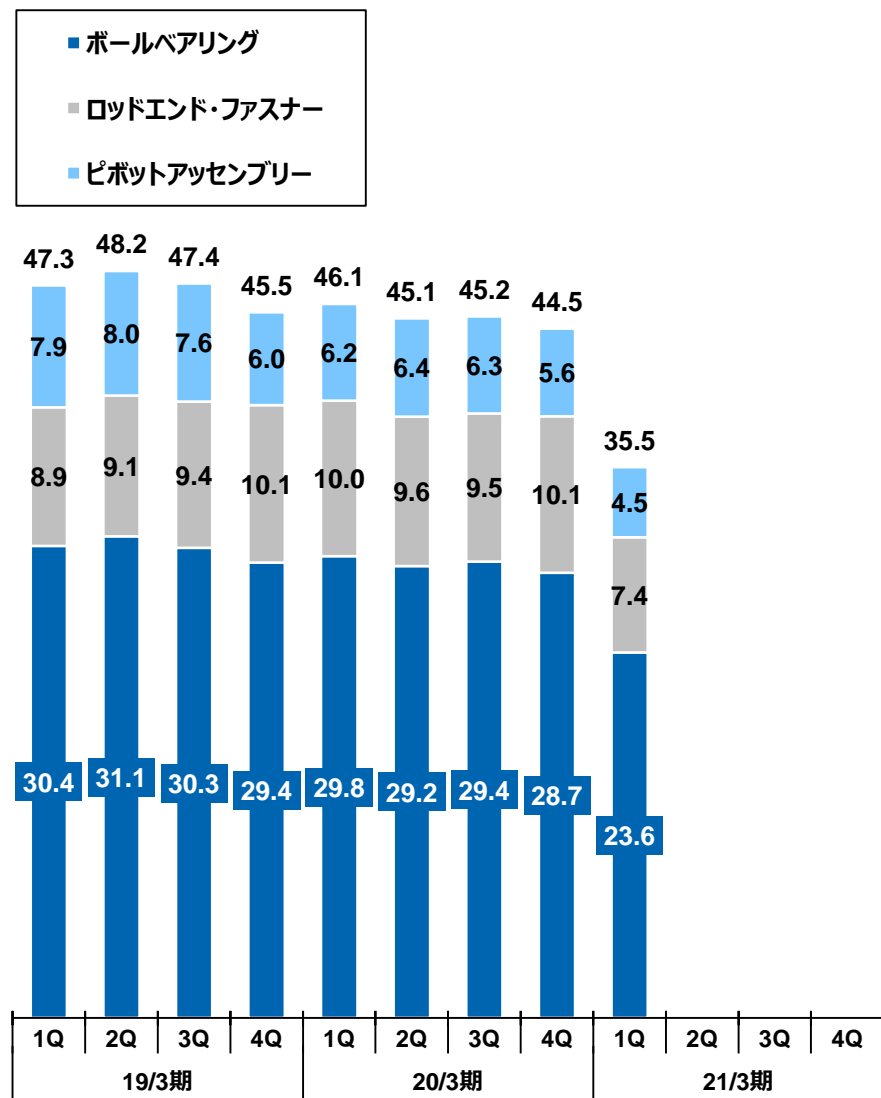
# 売上高、営業利益、営業利益率

(10億円)

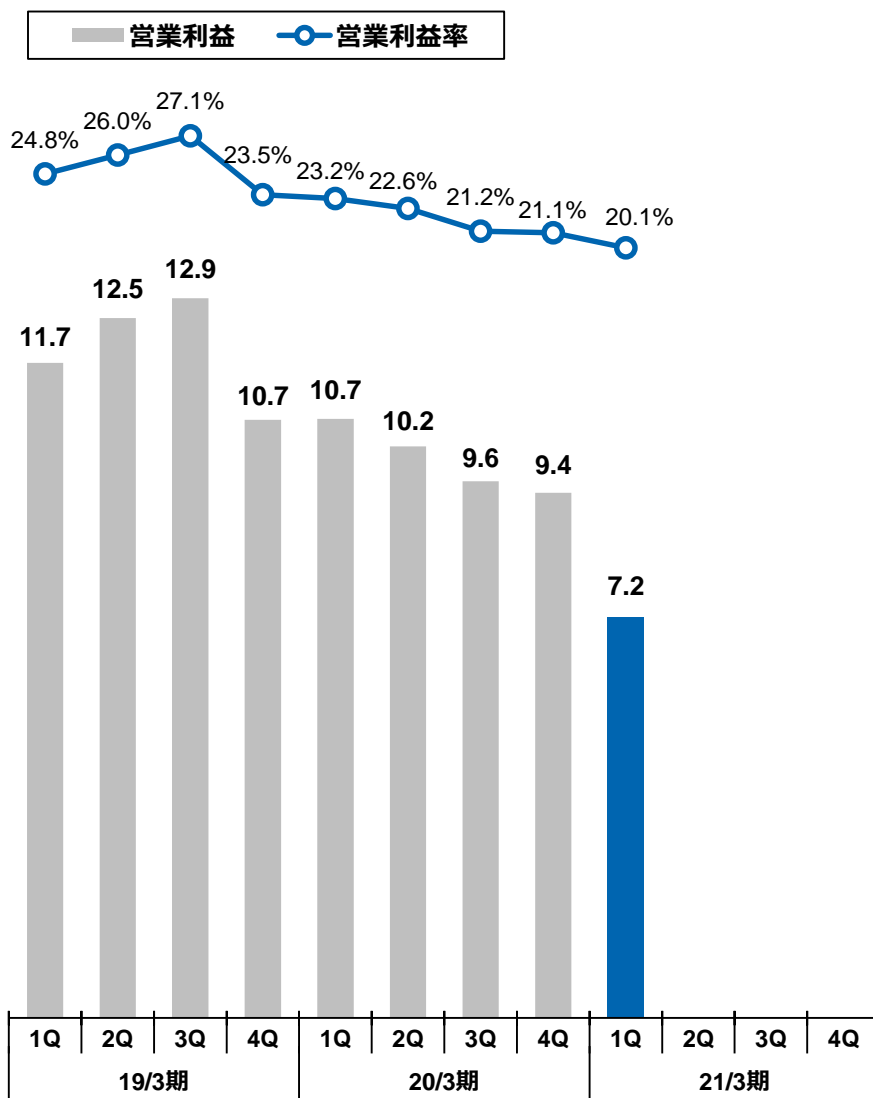


# 機械加工品事業セグメント

## 売上高 (10億円)

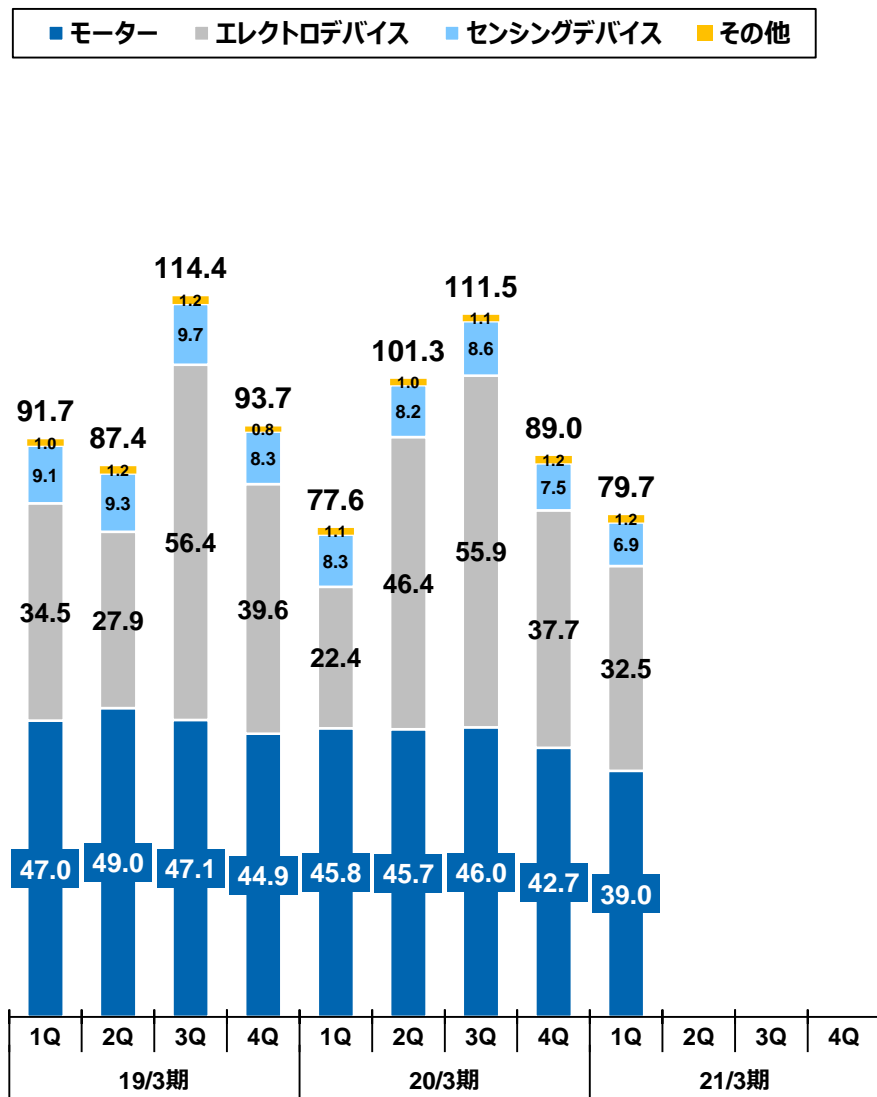


## 営業利益 (10億円)

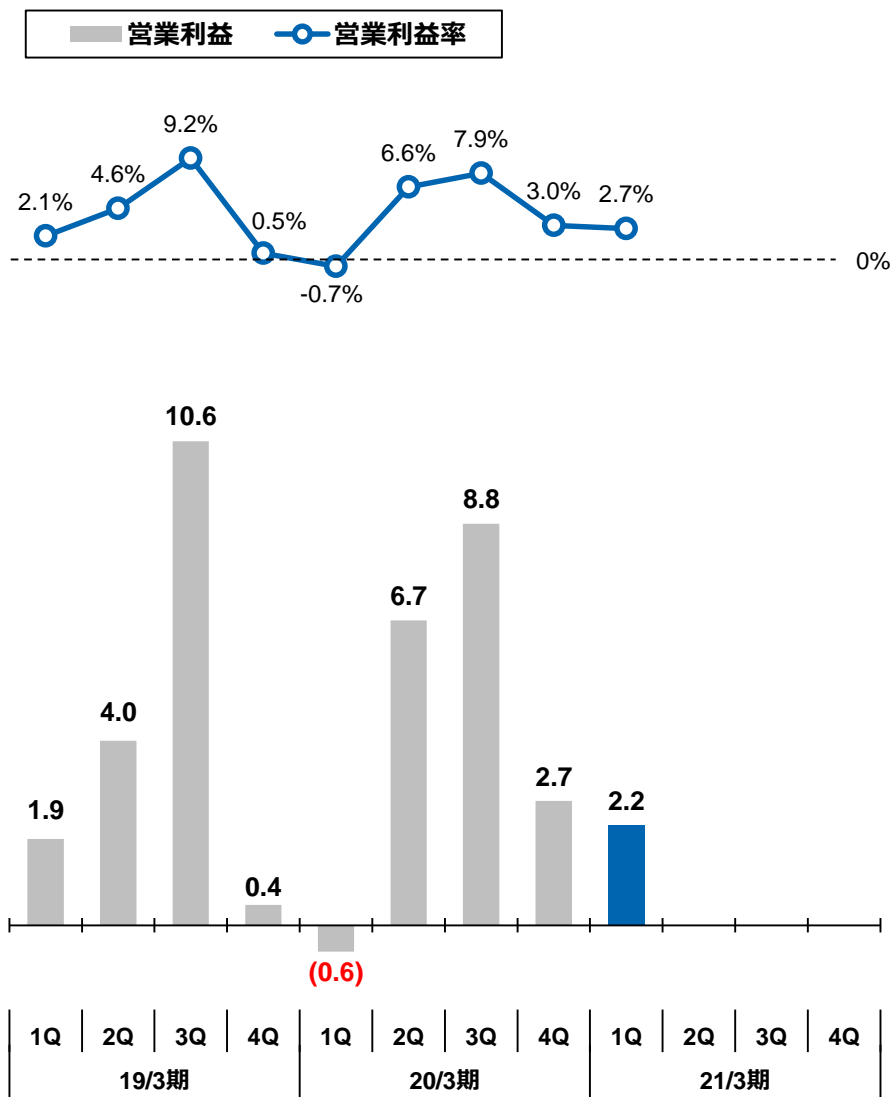


# 電子機器事業セグメント

## 売上高 (10億円)

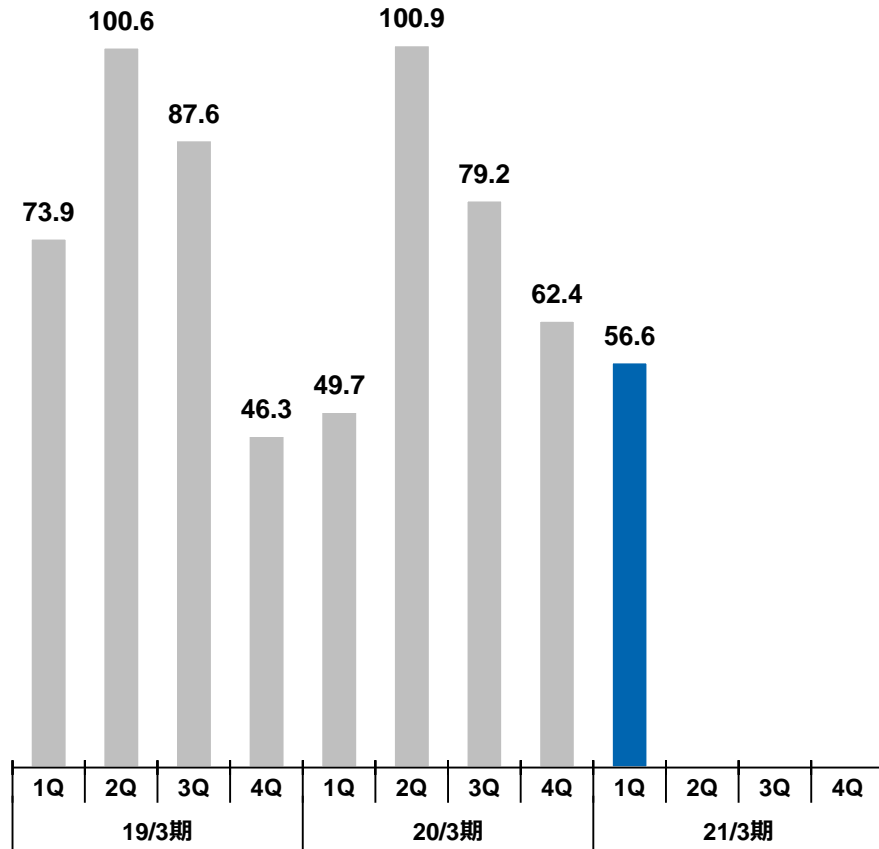


## 営業利益 (10億円)

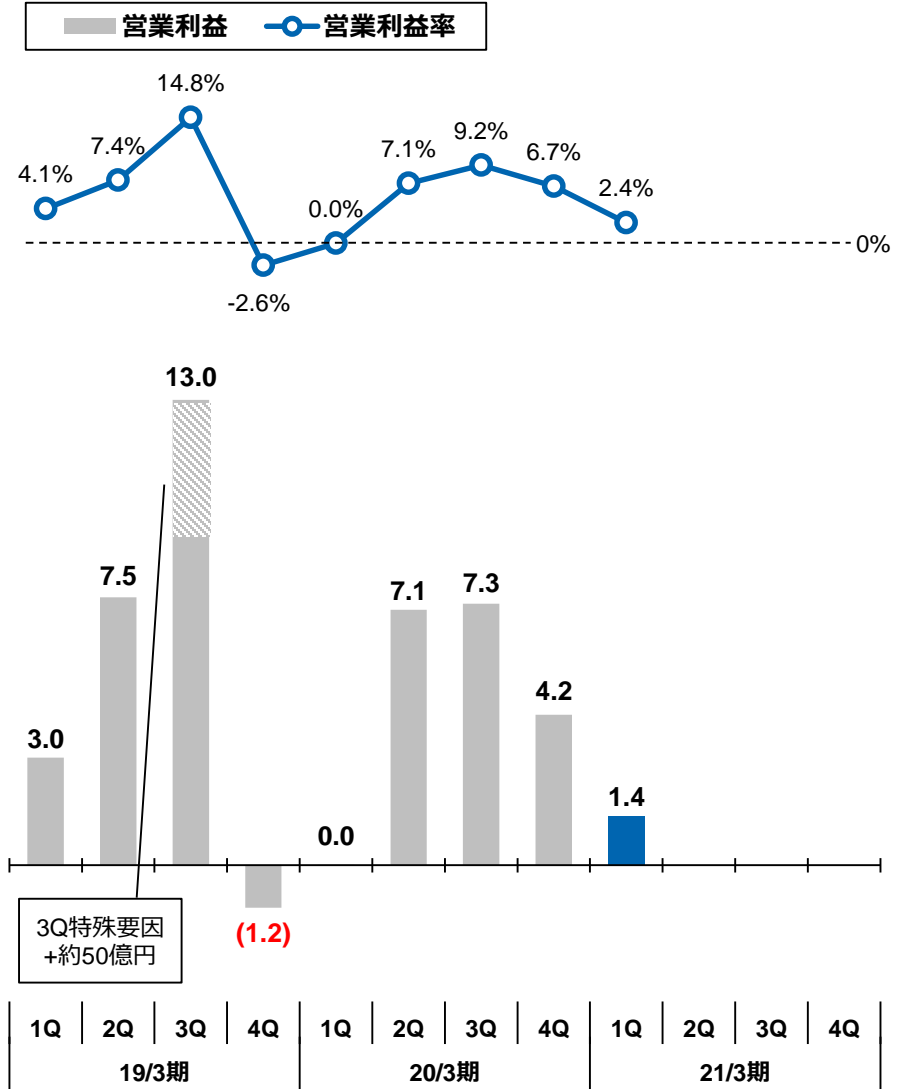


# ミツミ事業セグメント

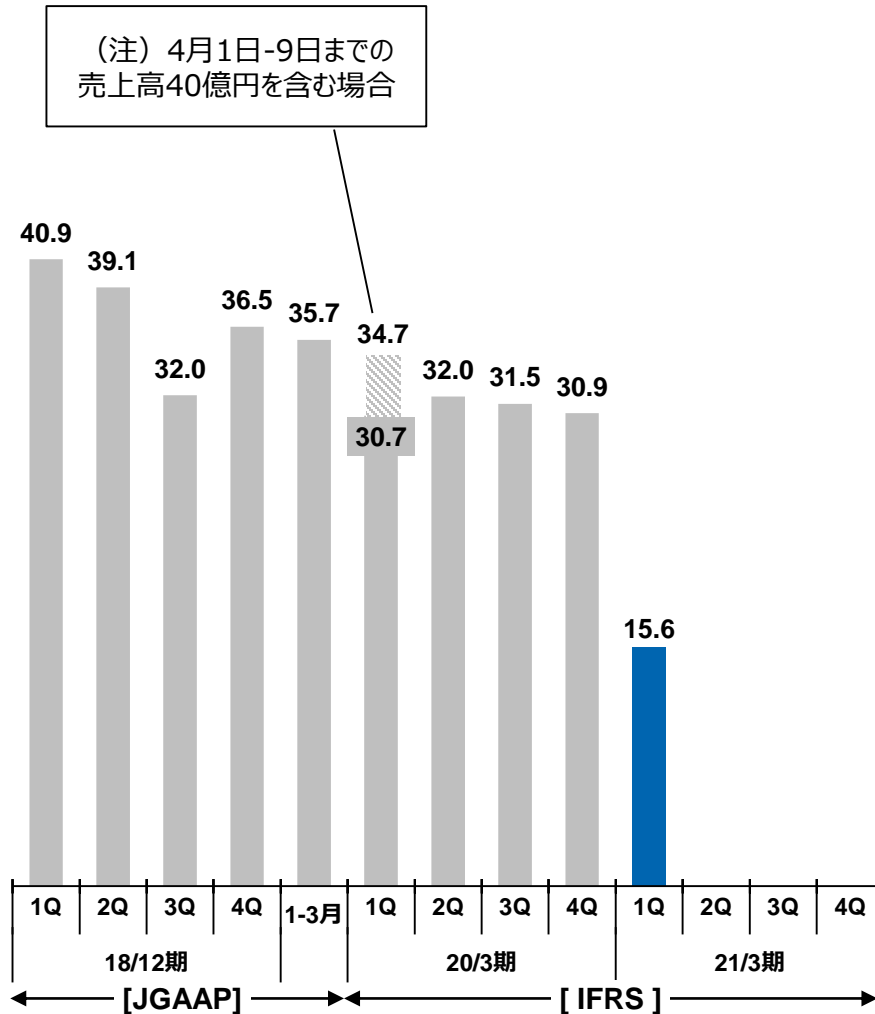
## 売上高 (10億円)



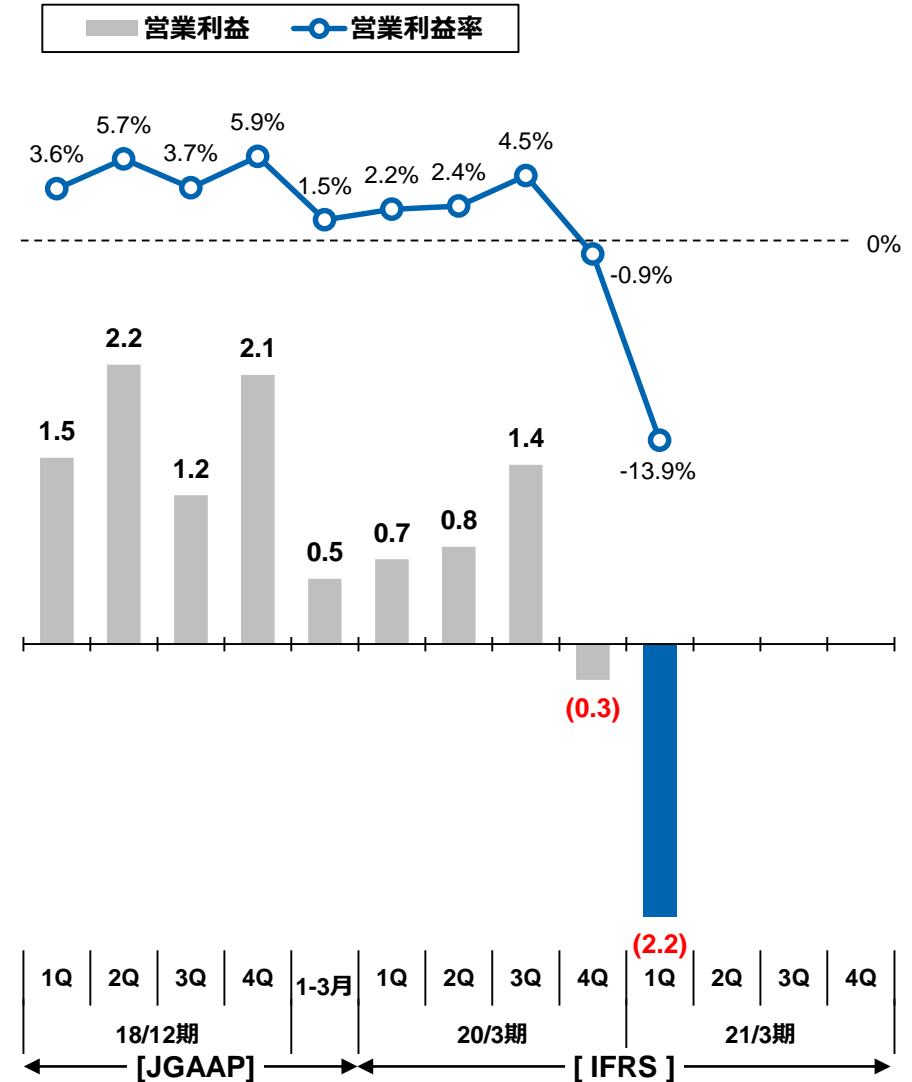
## 営業利益 (10億円)



## 売上高 (10億円)



## 営業利益 (10億円)



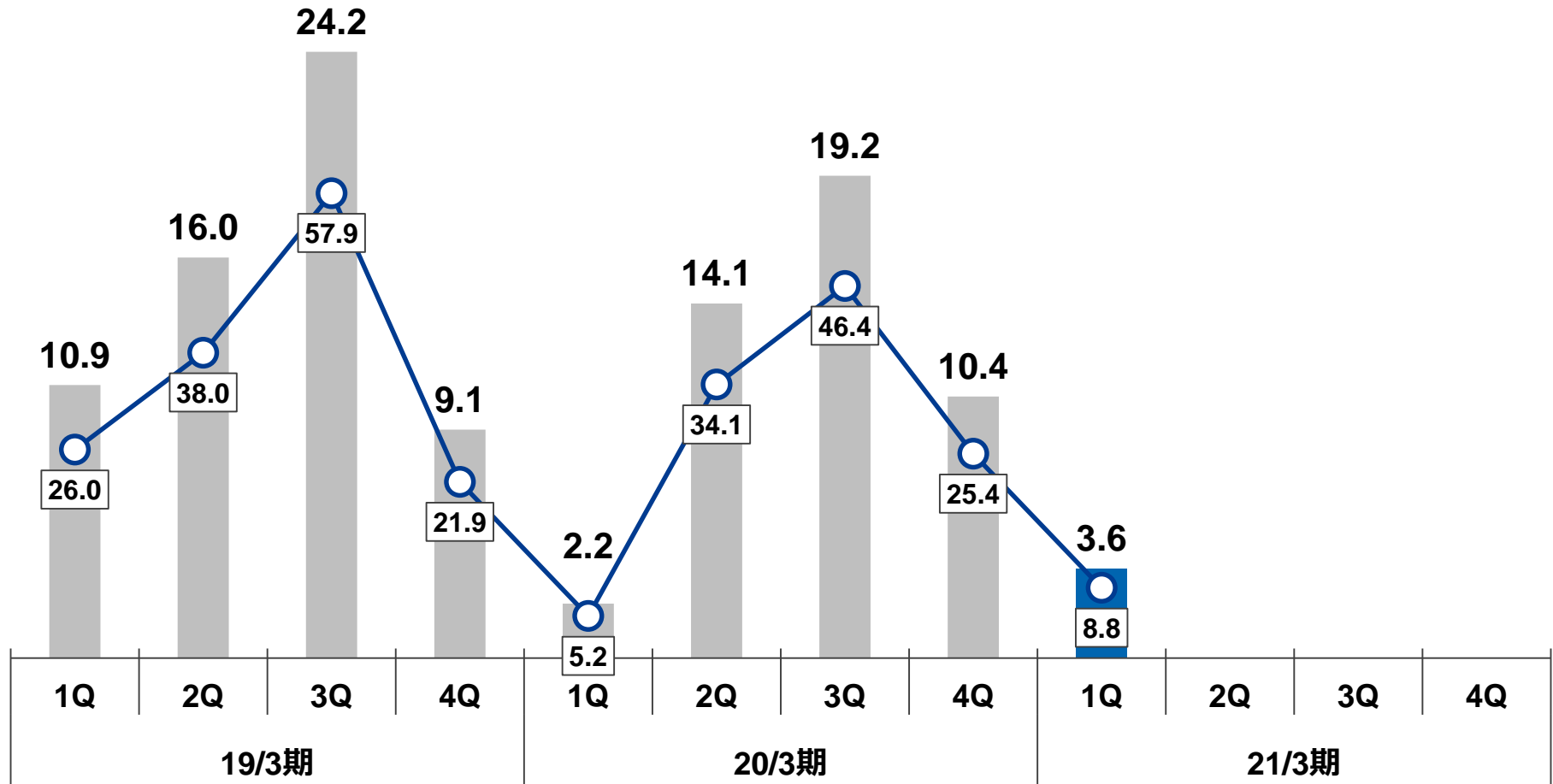
\*PPAにより、20/3期は修正

# 親会社の所有者に帰属する四半期利益

(10億円)

■ 親会社の所有者に帰属する四半期利益

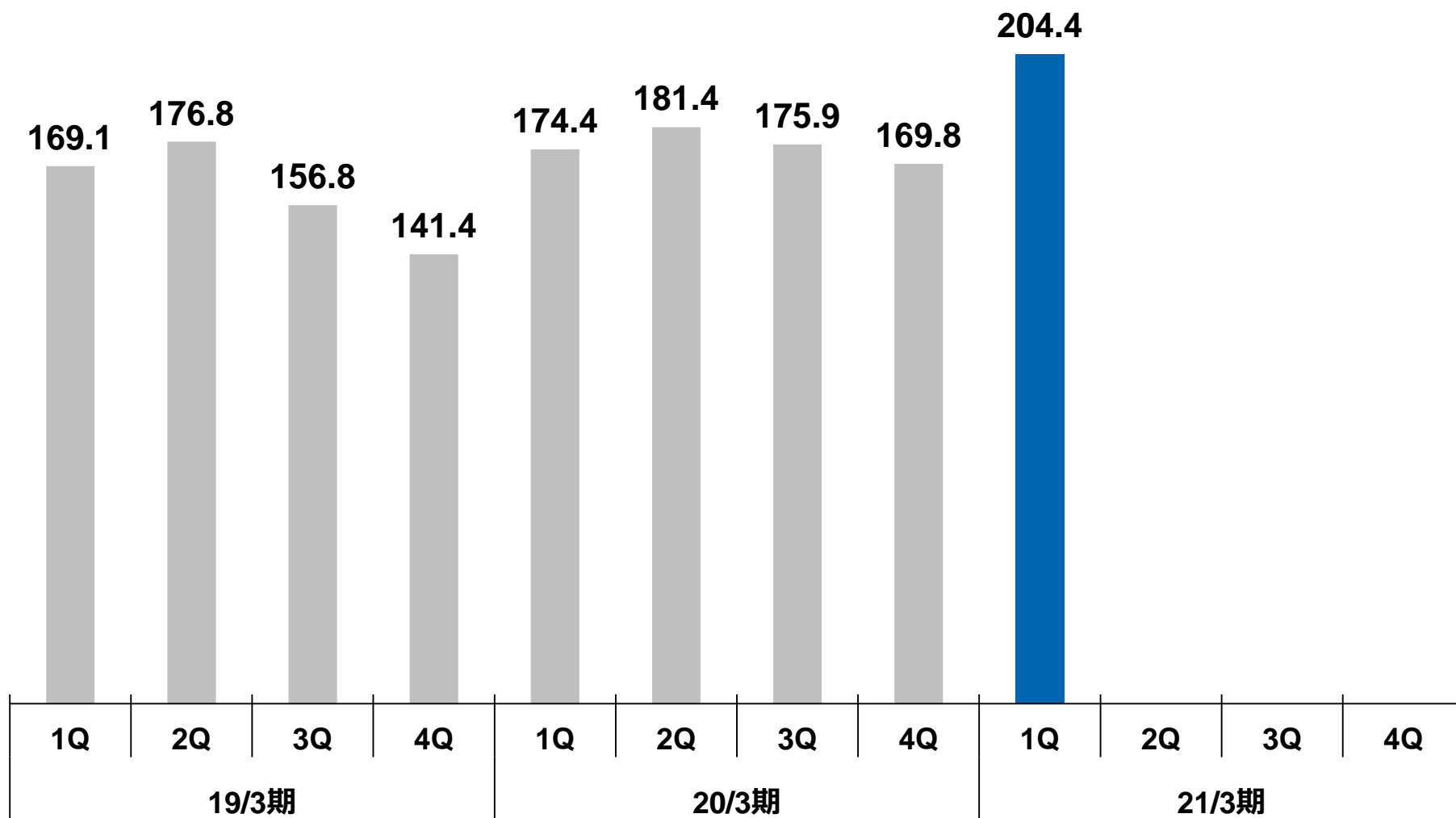
○ 基本的1株当たり四半期利益 (円)





# 棚卸資産

(10億円)

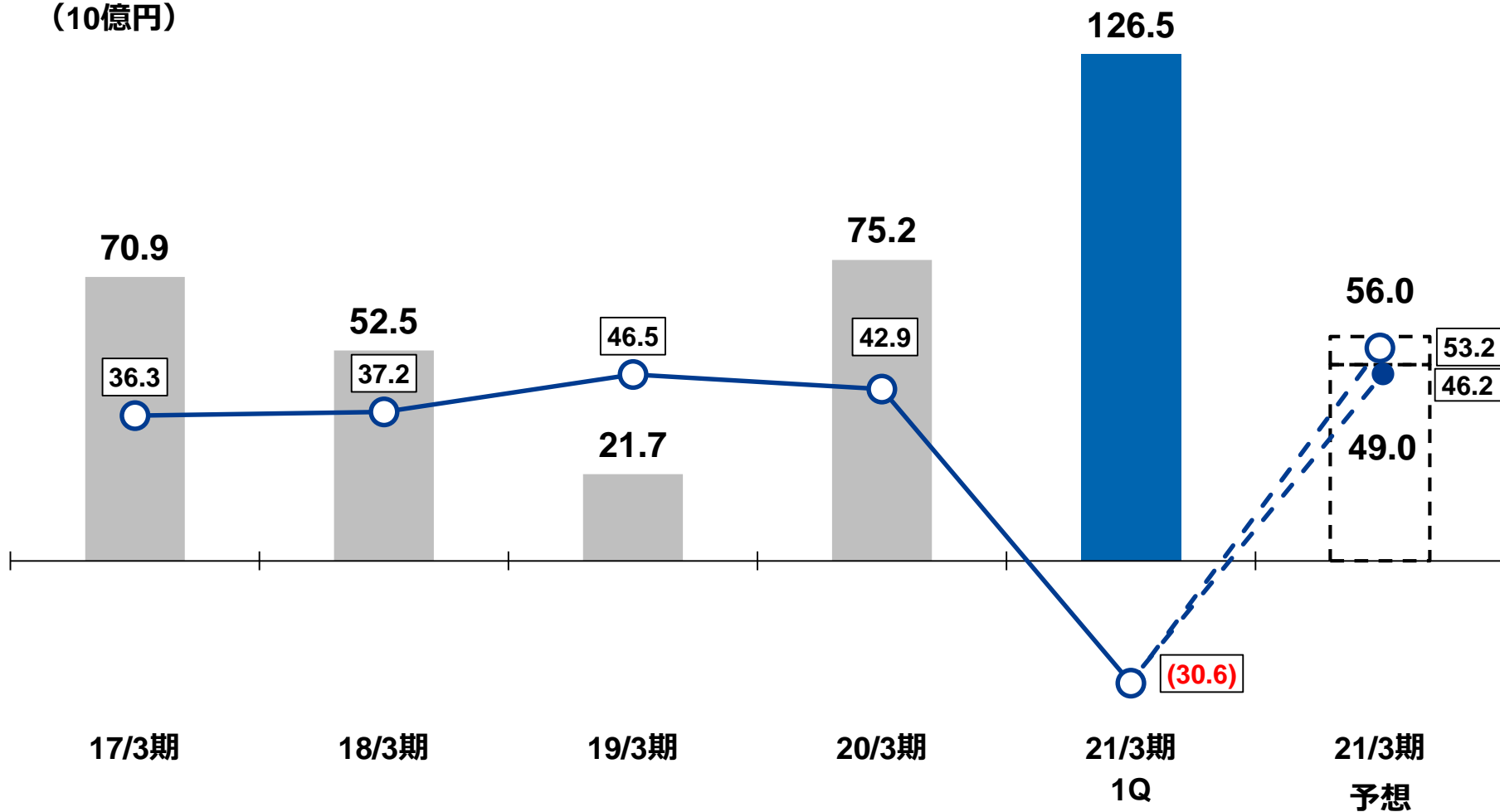


# ネット有利子負債、フリーキャッシュフロー

18/3期以前はJGAAP

■ ネット有利子負債\*    ○ フリーキャッシュフロー

(10億円)



\*ネット有利子負債：連結財政状態計算書上の「社債および借入金」 - 「現金および現金同等物」+ 3か月超の定期預金

[JGAAP]

[IFRS]

## 前回予想から変更なく、上限／下限のレンジとします

(百万円)	2020年3月期 通期	2021年3月期			
		上限		下限	
		通期	前期比	通期	前期比
売上高	978,445	1,000,000	+2.2%	900,000	-8.0%
営業利益	58,647	60,000	+2.3%	50,000	-14.7%
税引前利益	58,089	59,000	+1.6%	49,000	-15.6%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	45,975	47,000	+2.2%	39,000	-15.2%
基本的1株当たり 当期利益 (円)	111.11	115.08	+3.6%	95.49	-14.1%

為替レート	2020年3月期 通期	2021年3月期 想定
US\$	109.12円	107.00円
ユーロ	121.27円	115.00円
タイバーツ	3.52円	3.30円
人民元	15.68円	15.00円

# セグメント別業績予想

(百万円)	2020年3月期 通期	2021年3月期			
		上限		下限	
		通期	前期比	通期	前期比
売上高	978,445	1,000,000	+2.2%	900,000	-8.0%
機械加工品	180,885	170,000	-6.0%	160,000	-11.5%
電子機器	379,422	356,000	-6.2%	324,000	-14.6%
ミツミ事業	292,243	373,000	+27.6%	335,000	+14.6%
ユーシン事業	125,145	100,000	-20.1%	80,000	-36.1%
その他	750	1,000	+33.3%	1,000	+33.3%
営業利益	58,647	60,000	+2.3%	50,000	-14.7%
機械加工品	39,874	37,000	-7.2%	33,000	-17.2%
電子機器	17,552	16,000	-8.8%	14,000	-20.2%
ミツミ事業	18,656	24,000	+28.6%	22,000	+17.9%
ユーシン事業	2,598	1,000	-61.5%	△1,000	-
その他	△1,502	△2,500	+66.4%	△2,500	+66.4%
調整額	△18,531	△15,500	-16.4%	△15,500	-16.4%

- **全体**：コロナ禍において**1Q営業利益は前年比61%増を確保**。  
上半期の営業利益は前年並みの水準が見えてきた。  
**多様化したポートフォリオが収益を支える。リスク分散にも寄与。**
- 下半期は依然として未確定要素があり、  
通期ガイダンスは引き続き上限／下限のレンジとする。
- **機械加工品**：ボールベアリング外販数量は、  
依然として不透明ながら3Q以降順次回復するものと期待。  
民間航空機向けは変化なし。
- **電子機器・ミツミ事業**：スマホ・ゲームが収益を支える。  
アナログ半導体はコア事業として**安定的に収益に寄与**。
- **ユーシン事業**：一部工場は稼働率100%に戻った。  
2Qから底を脱し回復へ。

## 1

### 今期はレンジでのガイダンスを継続

- 上半期の営業利益は前年並みの水準が見えてきた  
⇒ COVID-19後は従来の成長軌道に戻る

## 2

### 主力事業の成長で事業ミックスを中長期的に強化

- ボールベアリング ✓ 超高品質、構造的増加、圧倒的競争力
- モーター ✓ ハイエンドにフォーカス
- カメラアクチュエータ ✓ イノベーションと構造的増加
- アナログ半導体 ✓ エイブリックとのシナジー

## 3

### 中長期的なキャッシュアロケーション方針は不変

- 配当と自社株買い：FCFの**50%**、配当性向**20%**程度
- M&A：バリュエーション魅力度UPの好機を確実にとらえる

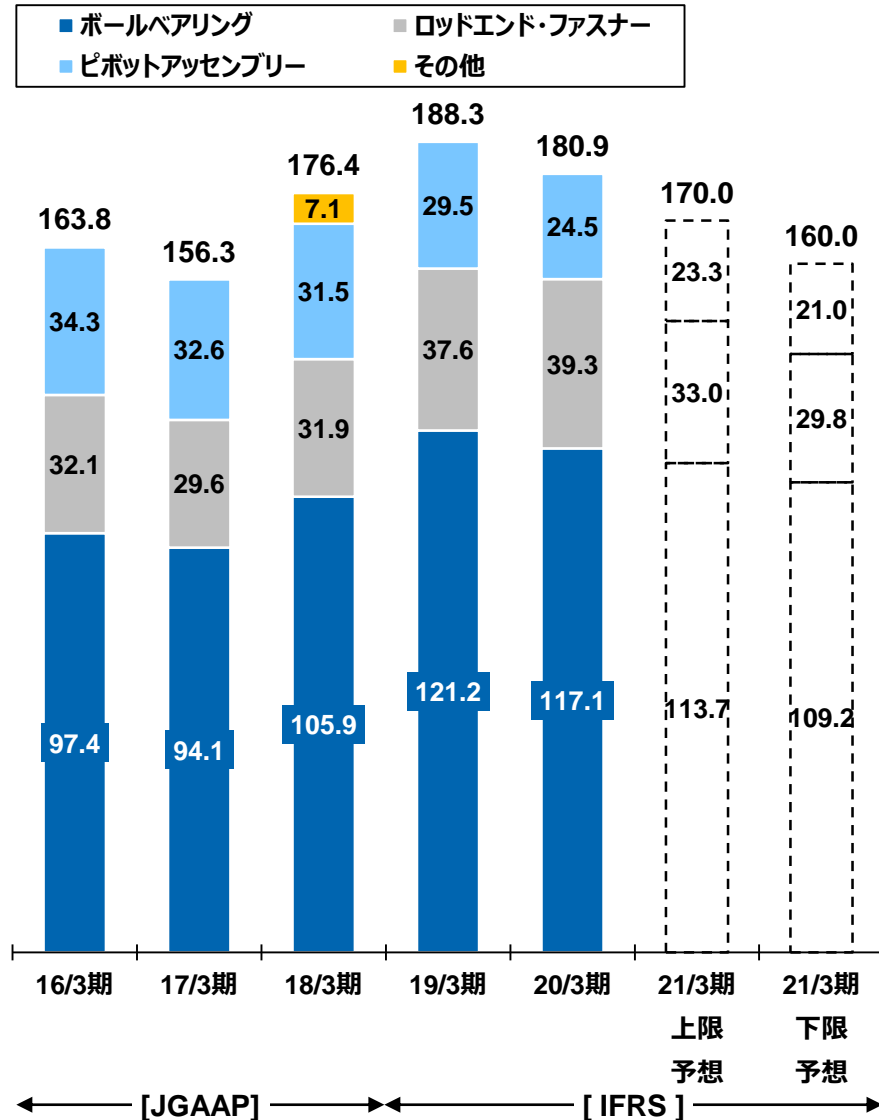


当資料で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております。実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。本資料に掲載のあらゆる情報はミネベアミツミ株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。

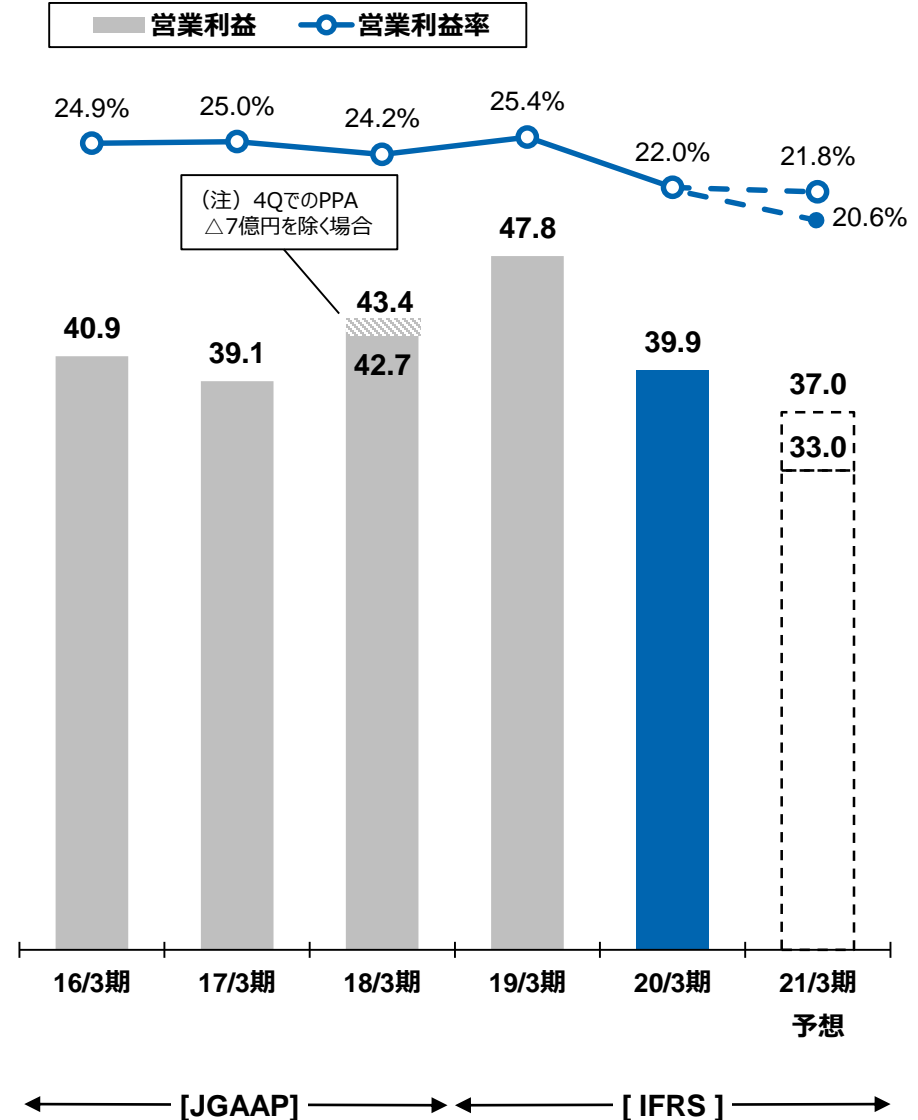
# 參考資料



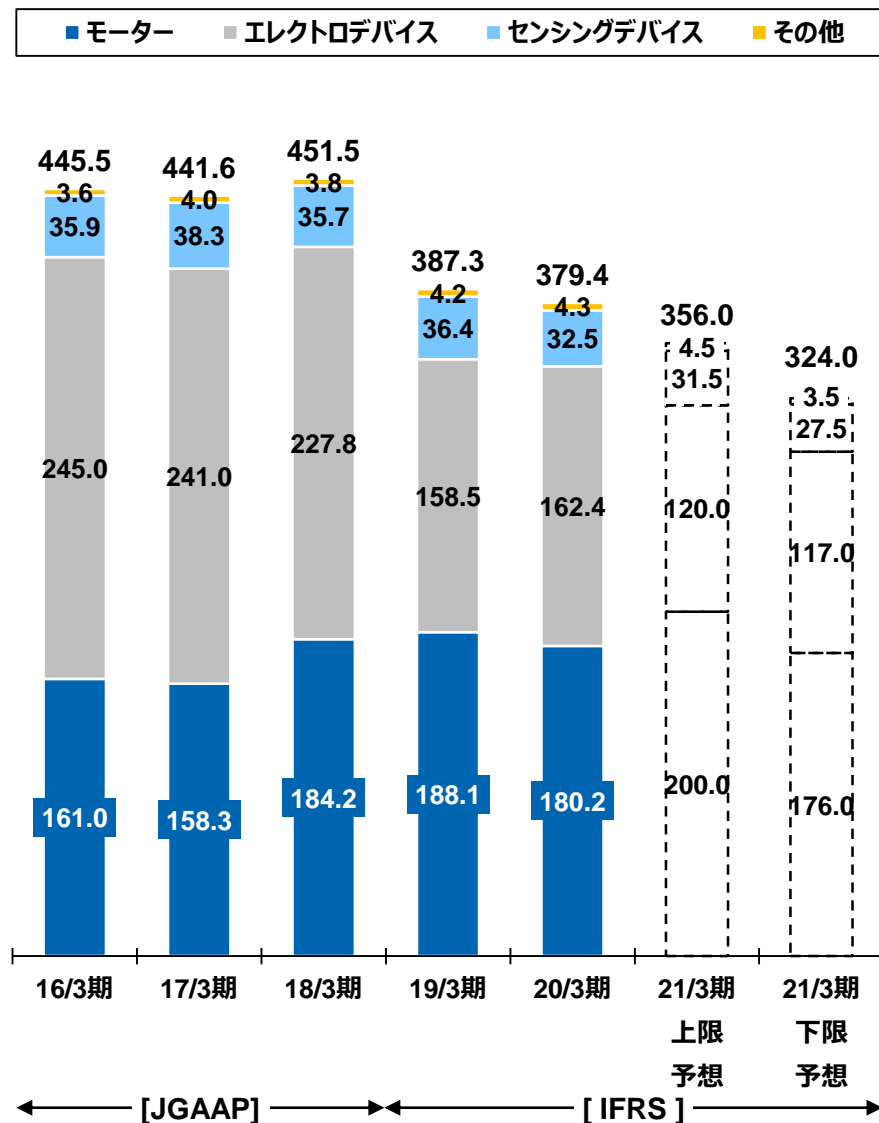
## 売上高 (10億円)



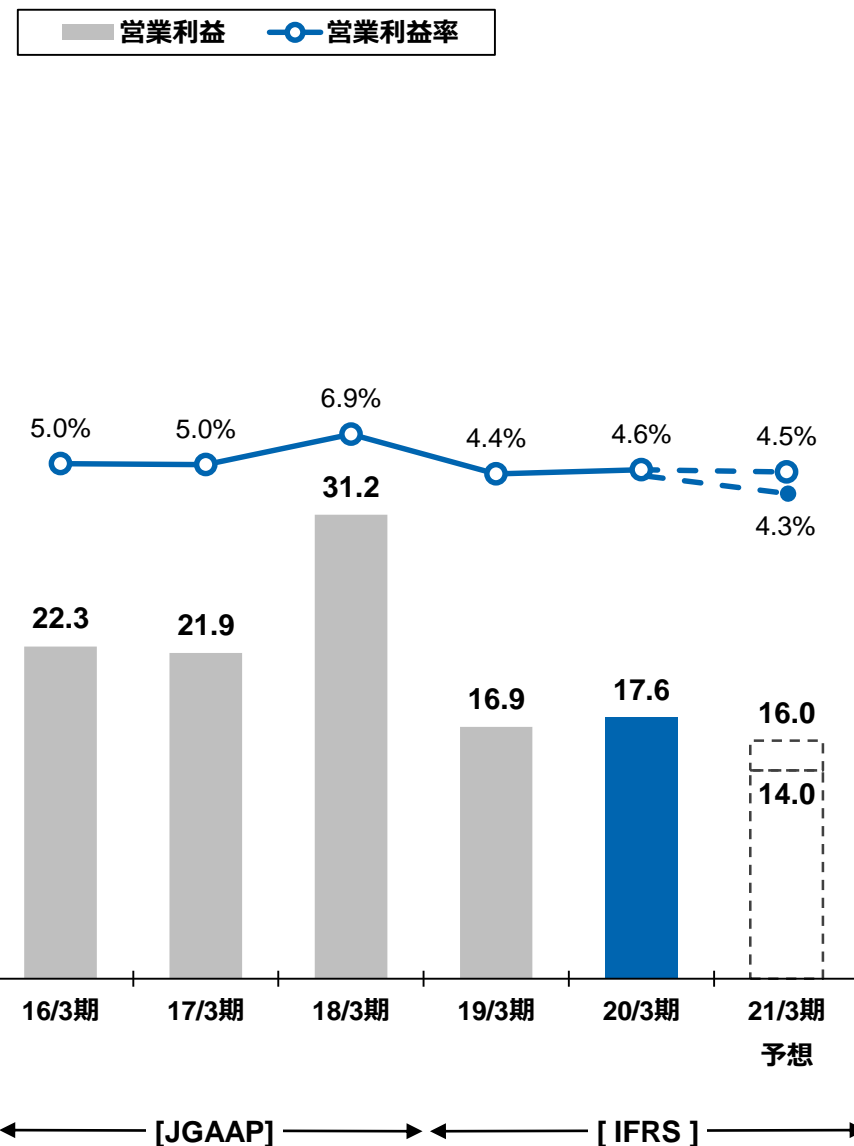
## 営業利益 (10億円)



## 売上高 (10億円)



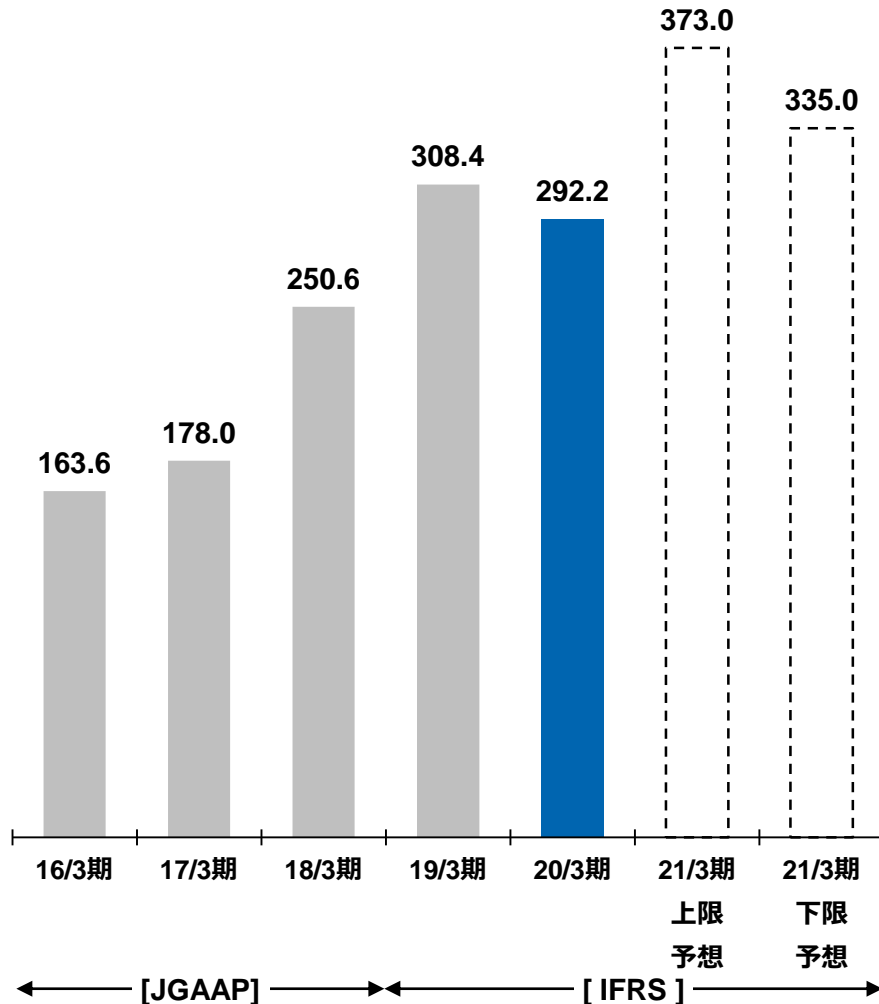
## 営業利益 (10億円)



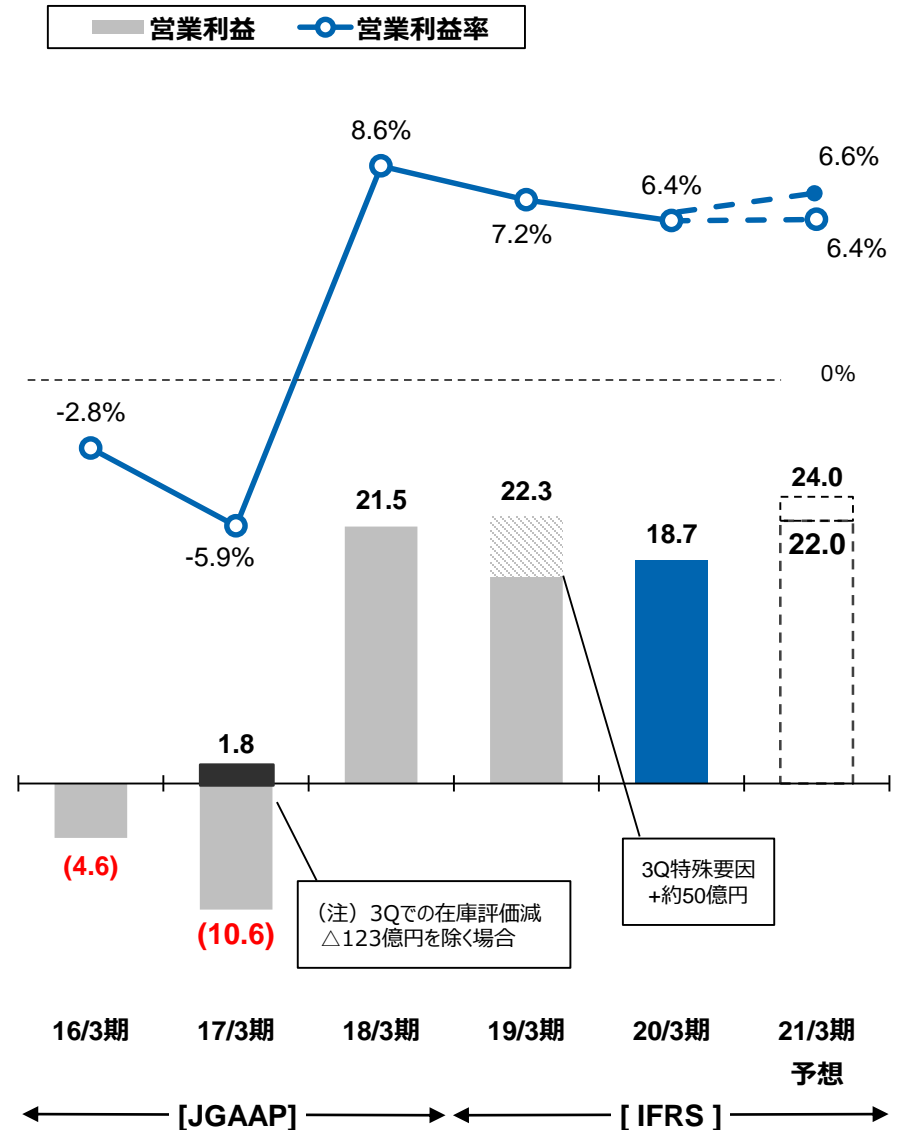
# ミツミ事業セグメント

売上高、営業利益ともに、17/3期3Qまでは、経営統合前。  
17/3期4Qは3ヶ月分の管理会計ベース。18/3期以前はJGAAP

## 売上高 (10億円)



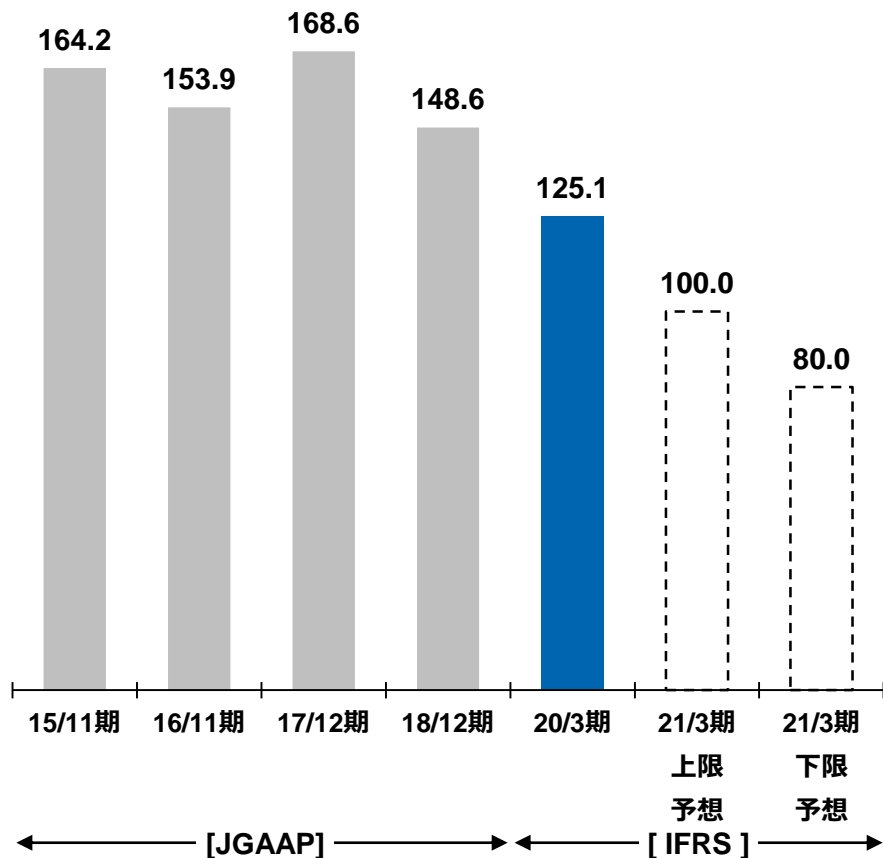
## 営業利益 (10億円)



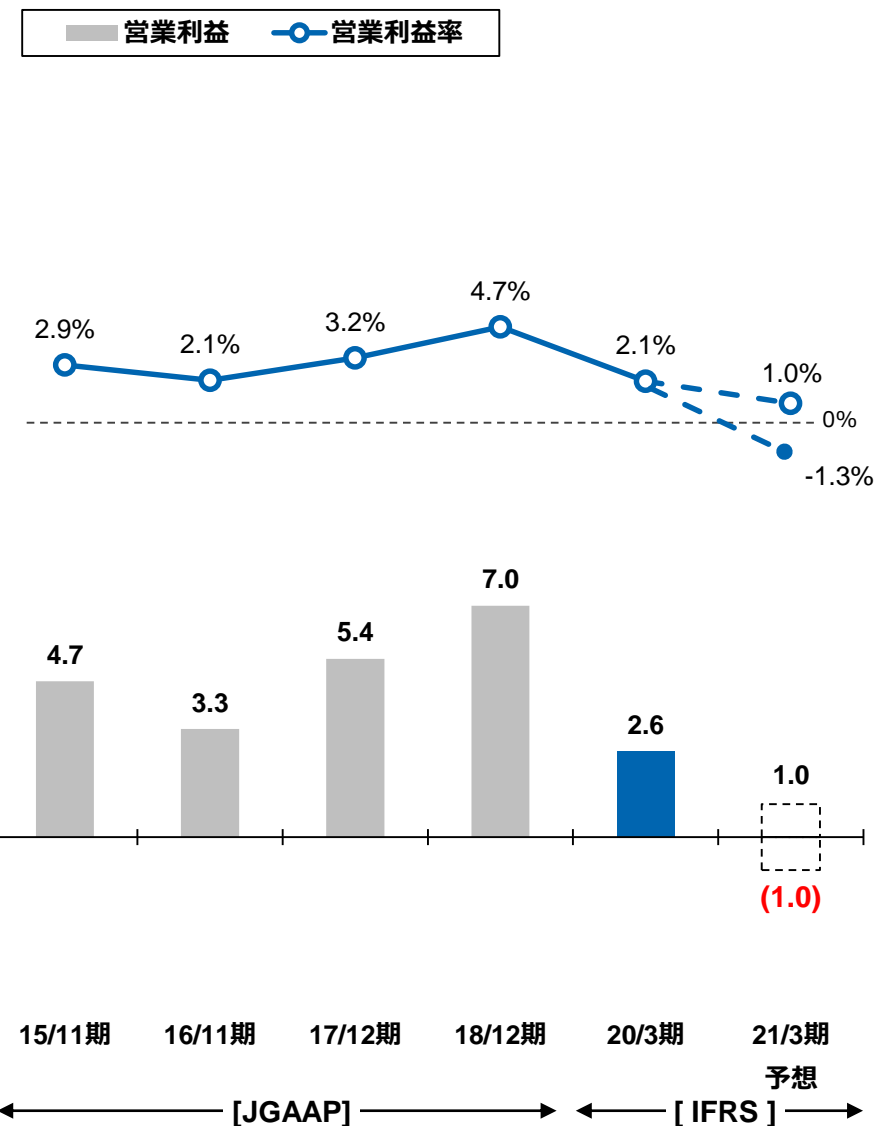
# ユーシン事業セグメント

決算期変更に伴い17/12期は13ヶ月決算  
18/12期以前は経営統合前の参考値でJGAAP  
20/3期は2019年1-3月の数値を含まず

## 売上高 (10億円)

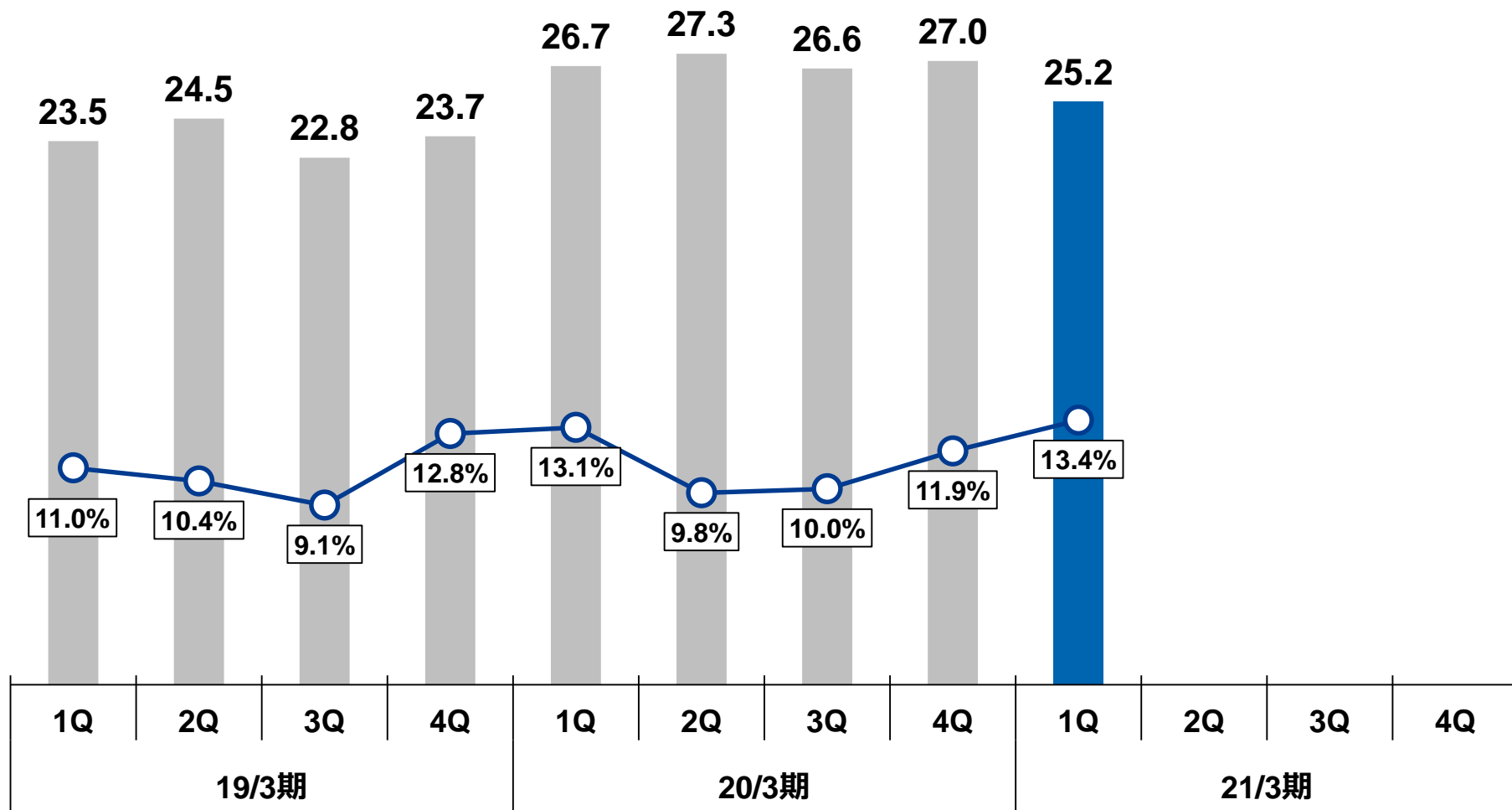


## 営業利益 (10億円)



# 販管費

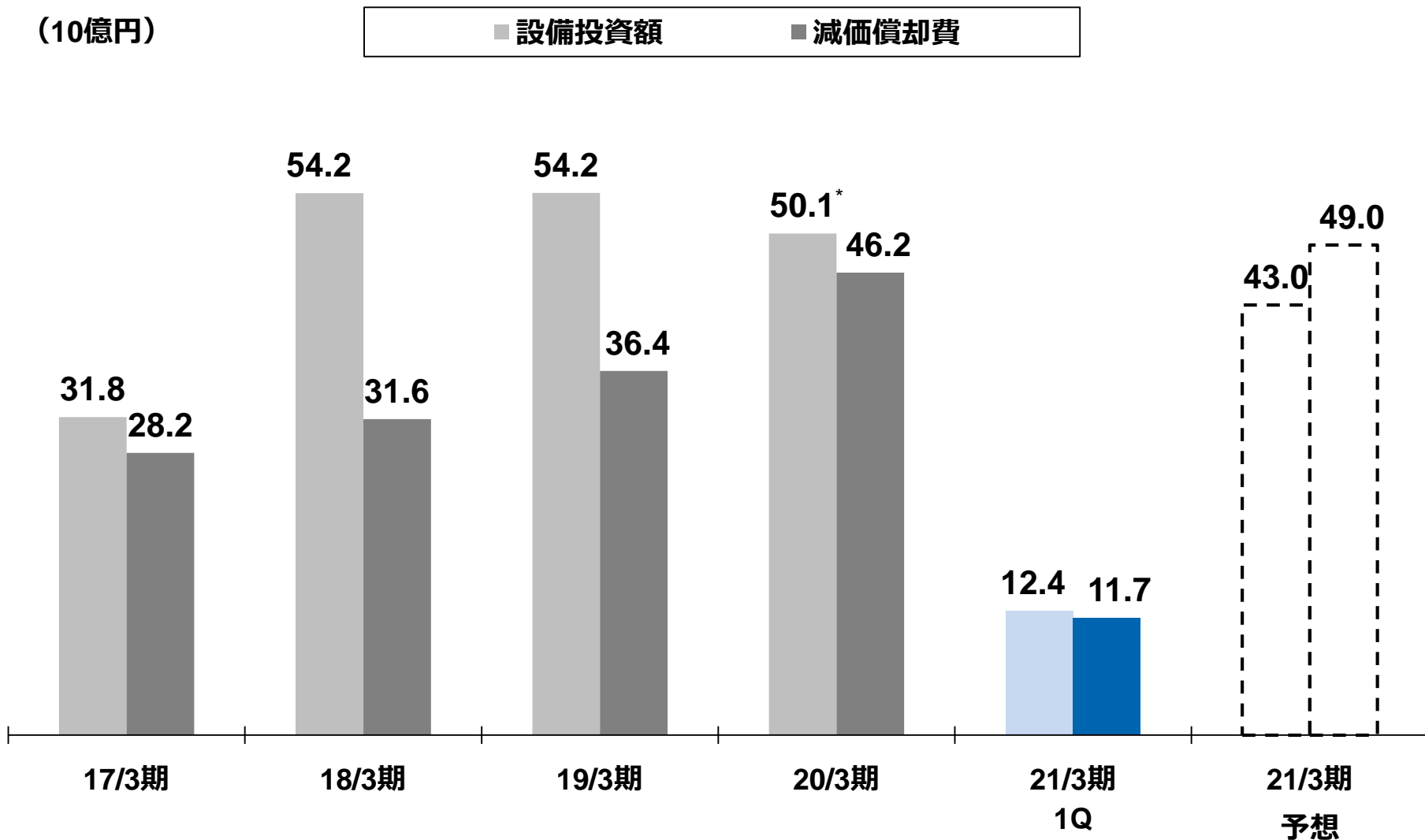
(10億円)



# 設備投資額・減価償却費

18/3期以前はJGAAP

(10億円)



\*20/3期1Q設備投資額には、IFRS16号適用開始日に増加したリース資産は含まれておりません。

← [JGAAP] → [IFRS] →

# ROIC (投下資本利益率)

ユーシン事業は19/3以前は経営統合前の参考値でJGAAP、全社には含まない。その他のセグメントは18/3期以前はJGAAP

ミネベアミツミ版  
ROIC

$$\text{ROIC} = \frac{\text{NOPAT (営業利益+特別損益)} \times (1 - \text{税率})}{\text{投下資本 (受取手形+売掛金+棚卸資産+固定資産-支払手形-買掛金)}}$$

セグメント別で管理できる事業資産（売上債権・債務、棚卸資産、固定資産）で算出

